

**10. 令和6年度長崎県教育委員会指定
体力向上推進モデル校実践報告**

(別紙様式3)

令和6年度体力向上推進モデル校実践報告書

学校名	長崎市立高城台小学校	学級数	15
		人数	428

1 取組内容

(1) 教育活動全体を通じた取組



学校をプレイパークに!

校内の様々な場所に運動の場を設けたことで、児童が気軽に運動の機会を得ることができていた。登校して教室に向かう前や休み時間に遊びに行く途中にハンドグリップをにぎったり、体育の時間までの空いた時間に目標の高さまでジャンプしたりする児童の姿が見られた。

(2) 「わかって、できて、楽しい体育授業」



校内研修



体育科研究授業

体づくり運動を行うことを通して、友達と対話をしたり協力して活動を進めたりする姿が見られた。授業で学習したことを授業時間以外の運動習慣につなげることができているかは個人差が大きく、次年度以降の課題である。

2 取組のふり返り

児童が体力づくりに積極的になれるようにするための取組や授業改善を行ってきた。プレイパークの設置と、記録の取り方をはっきり示したことは有効であった。授業についても、体育授業の先につなげるという目標を持ち、児童が主体的に取り組める運動を考え、充実した授業づくりができた。

令和6年度体力向上推進モデル校実践報告書

学校名	平戸市立生月小学校	学級数	8
		人数	77人

1 取組内容

(1) 教育活動全体を通じた取組



元気アップファミリーフィット



学校をプレイパークに!



正しい形でのジャックナイフストレッチ

- ・元気アップファミリーフィットでは、家庭でもできる体づくり運動に取り組んだ。簡単な動きだが、息があがったり、汗をかいたりするものばかりだったので、「家庭でも取り組みたい」という感想が多かった。
- ・体育館にジャンプしてタッチする的を設置した。準備運動や休み時間に活用されていた。
- ・ジャックナイフストレッチを行う際に、「胸と膝をくっつける」と声かけをしたことで、正しい形でのジャックナイフストレッチが身に付きつつある。

(2) 「わかって、できて、楽しい体育授業」



校内研修



体育科研究授業



アスリート派遣事業

- ・校内研修では、年間3本の体育科研究授業を行った。県体育保健課からも指導助言に来ていただき、学習指導要領の考え方や体育の授業づくりについて、共通理解を図ることができた。
- ・アスリート派遣事業では、跳び箱運動の講師として土橋ココ選手に来ていただいた。跳び箱が苦手な児童も、チャレンジする姿が見られた。

2 取組のふり返り

年間を通して体力向上に関する実践を行ったことで、児童の「運動すること」に対する意識が向上してきている。特に、体育科の授業ではルールや場づくりの工夫を取り入れたことで、運動することが苦手な児童が「やってみよう」と前向きな態度が見られるようになった。

課題としては、体育以外の時間に運動している児童としていない児童が二極化してきていることである。次年度は、授業外でも、積極的に体を動かす機会を設定していけるとよいと考えている。

(別紙様式3)

令和6年度体力向上推進モデル校実践報告書

学校名	壱岐市立霞翠小学校	学級数	6
		人数	70

1 取組内容

(1) 教育活動全体を通じた取組



ファミリーフィット!



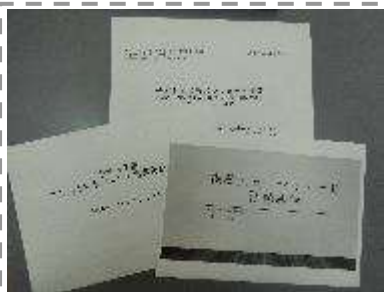
学校をプレイパークに!



フィットネスチャレンジながさき

(児童の様子等) 自然と体を動かしたり、自分だけでなく他者とのふれあいを通して楽しく活動する姿が多く見られた。

(2) 「わかって、できて、楽しい体育授業」



校内研修



体育科研究授業



体育学習サポーター

(児童の様子等) 運動のコツを自分なりに考えて理解し、実際に試してみるにより技能を習得し喜ぶ児童の姿が見られ、『できた!』『楽しい!』といった声を聞くことができた。また、教師は児童への効果的な声かけや授業のねらいを明確にすることで、授業改善を図ることができた。

2 取組のふり返り

(児童の様子の変化や成果、課題等) 様々な活動を行う中で、児童が自然と体を動かしたり、運動のコツを身に付けたりするなど、運動に対する抵抗感が減り、運動をすること・体育の授業をすることが楽しいと感じる児童が増えた。また、[自然と運動に親しむことができる環境づくり]や[楽しさや喜びを味わい、資質・能力の育成につながる体育授業]など、教師の学びも向上させることができた。今後は、今年度取り組んだ活動を継続しながら、児童の運動意欲を更に高めていく取組を行っていく。